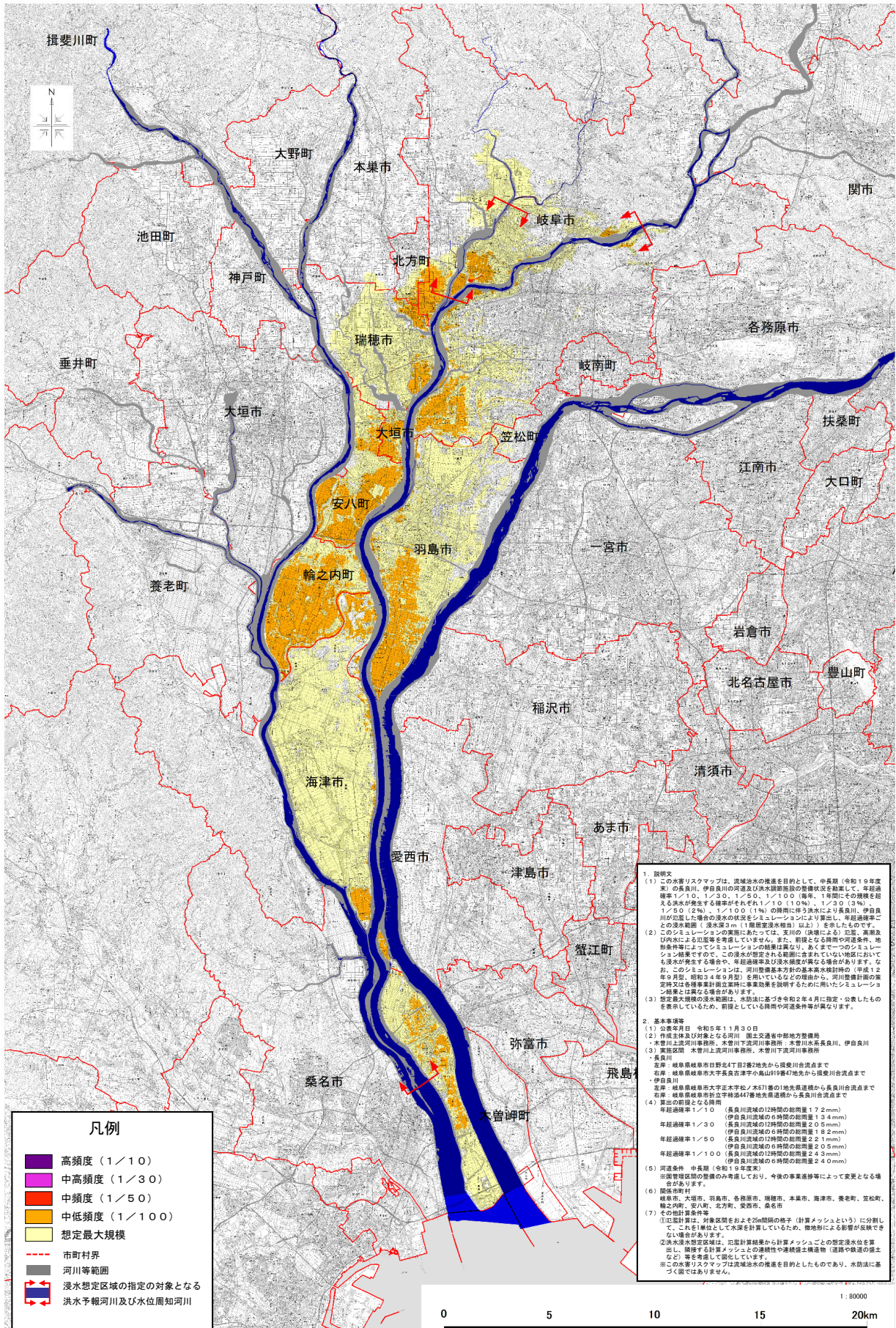


# 木曽川水系長良川 国管理河川の氾濫を想定した水害リスクマップ 【中長期河道】

令和5年11月末時点版

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文  
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、中長期（令和19年度末）の長良川、伊自良川の河道及び洪水調節施設の整備状況を踏まえ、年超過率 $1/10$ 、 $1/30$ 、 $1/50$ 、 $1/100$ （毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率をそれぞれ $1/10$ （10%）、 $1/30$ （3.3%）、 $1/50$ （2%）、 $1/100$ （1%）の確率に伴う洪水により長良川、伊自良川が想定した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、年超過率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示したものである。  
 (2) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（状況による）氾濫、高潮及び河川による氾濫等を考慮している。また、前提となる降雨や河川条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果である。この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する可能性や、年超過率及び浸水深が異なる場合がある。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の（平成12年9月型、昭和44年9月型）を用いているなどの理由から、河川整備計画の策定又は実施等計画立案時に事業効果を説明するためのシミュレーション結果とは異なる場合がある。  
 (3) 想定最大規模の洪水範囲は、河防法に基づき令和2年5月に指定・公表したものを表示しているため、前提としている降雨や河川条件等が異なる。

2. 基本事項等  
 (1) 公表年月日 令和5年11月30日  
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省中部地方整備局 木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所、木曽川系長良川、伊自良川  
 (3) 実施期間 木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所  
 長良川 左岸：岐阜県岐阜市日野北丁目2番2地先から揖斐川合流点まで  
 右岸：岐阜県岐阜市大宇長古津字小島山919番47地先から揖斐川合流点まで  
 伊自良川 左岸：岐阜県岐阜市大字正木字松ノ木671番の1地先須道から長良川合流点まで  
 右岸：岐阜県岐阜市新立字津添447番地先須道から長良川合流点まで  
 (4) 算出の前提となる降雨  
 年超過率 $1/10$ （長良川流域の12時間の総雨量17.2mm）  
 年超過率 $1/30$ （伊自良川流域の6時間の総雨量13.4mm）  
 年超過率 $1/50$ （伊自良川流域の6時間の総雨量18.2mm）  
 年超過率 $1/100$ （伊自良川流域の6時間の総雨量20.5mm）  
 (5) 河川条件 中長期（令和19年度末）  
 ※国営管理河川の整備のみ考慮しており、今後の事業進捗等によって変更となる場合がある。  
 (6) 関係市町村  
 岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、瑞穂市、本巣市、海津市、養老市、笠松市、輪之内町、安八町、北方町、愛西市、桑名市  
 (7) その他計算条件等  
 ※対象区域をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合がある。  
 ※浸水水深を算出する際、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続体土壌連通（道路や鉄道の壁など）等を考慮して算出している。  
 ※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

凡例

- 高頻度（ $1/10$ ）
- 中高頻度（ $1/30$ ）
- 中頻度（ $1/50$ ）
- 中低頻度（ $1/100$ ）
- 想定最大規模
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川及び水位周知河川

『国土地理院の電子地形図25000【横山】【谷汲】【美濃神楽】【新佐】【美濃】【美濃】【志野】【北方】【岐阜北部】【美濃関】【関ヶ原】【大垣】【岐阜西部】【岐阜】【大垣】【豊山】  
 【美濃】【竹鼻】【一宮】【小牧】【瑞穂】【津島】【清洲】【名古屋北部】【電ヶ丘】【阿下志】【弥富】【笠江】【名古屋西部】【関ヶ原山】【志野】【桑名】【飛鳥】【瑞穂】  
 【日吉町】【西日吉町】【大野】【対馬】を掲載。【瑞穂】に基づき『国土地理院発表版（使用）』を掲載。』